



# かがやき

かんがえる  
かんばる  
かよさる  
かきたる

鳴鼓小学校 第2号  
立鳴鼓小学校 津町立

令和4年5月9日  
文責：校長 今井大輔

## 笑顔いっぱい歓迎遠足

四月二十二日(金)に最高の天候の下、歓迎遠足が実施されました。前後の四日間は、ずっと雨模様でしたが、子供たちの思いが届いたのでしよう、この日だけ奇跡的に晴れました。

現地では、一年生を拍手で迎え、全校で交流遊びをして、歓迎の気持ちを表しました。六年生は、パートナーの一年生に優しく声をかけ、楽しく過ごせるように共に遊んでいました。その一年生との関わり方が、六年生の成長に繋がっています。

また、各学年・学級でドッジボールや長縄など、担任を交えて思い切り遊んでいました。

楽しみにしていたお弁当やおやつタイムは、私たち教員から見ても少しかわいそうな気もしましたが、コロナ禍ということで仕方ありません。お弁当を食べる時も黙食、当然おやつの時も黙食で交換も無しでした。しかし、自分自身や友達を守るためです。そこは、子供たちもよく分かっています。子供たちの笑顔がたくさん見られる遠足を実施できたことが何よりでした。今後もコロナ禍における教育活動を工夫しながら行っていきます。



1年生へ優しく手をかしています

## ありがたい体験活動

四月十五日(金)にびわの袋かけ、四月二十五日(月)には、たまねぎの収穫作業がありました。どちらも地域の皆様(左底シニア会)のご協力のおかげでできる貴重な体験活動です。

先に行った四年生のびわの袋かけ作業では、「あまくておいしいびわになれ」や「ジューシーなびわになれ」などと、一人一人の思いを事前に書きこんだ袋をていねいにかぶせていきました。立派に実ったびわを収穫する時の子供たちの様子を想像するだけで今から楽しみが膨らみます。



優しくていねいに袋をかけました！

玉ねぎの収穫作業は、三年生が行いました。二年生の時に蒔いた種が、立派に成長していました。地域の方のご協力とマルチ栽培をされているおかげで収穫もしやすく、子供たちは玉ねぎを両手に満面の笑みでした。



収穫した玉ねぎの姿に感動しています

普段、スーパーにある丸いきれいな玉ねぎしか見たことのない子は、「玉ねぎにひげ(根)がある！」「これ細長い」など、新たな発見がたくさんあったようです。これが、実際に体験する良さです。地域の協力でこのような経験をできることは、子供たちにとって本当に幸せであり、ありがたい限りです。

## 運動会に向けて

六年生を中心とした応援練習が始まりました。

**みんなかがやき**  
**最後まで あきらめない なつみっ子**

6年1組の木村廣蓮です。心を1つにして白組の運動を止めましょう！赤組なら、やればできる！



赤組団長 木村 廣蓮さん

6年2組の山下ゆず菜です。昨年に続いて2連覇目指しましょう！必ず勝ちましょう！



白組団長 山下 ゆず菜さん

## ひなやき

近年、急速に進化したVR(バーチャルリアリティ)「仮想現実」。私自身、所有はしていないが、テーマパークのトラクションやイベント等で何度か体験したことがある。ゴーグルを使用している様子を見ると、実際に落下したり、空を飛んだりしているような感覚になる。しかし、ゴーグルを外すと元の世界に戻り、不思議な感覚だけが残っている。

## みんなかがやきのために

今号より裏面に特別支援教育に関するコラムを掲載していきます。ぜひ、ご覧ください。